

たなばたまつり

7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだお話や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度、7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

「なるほど 行事ブック」参照



子育てメッセージ

子どもはね、ええとこ探してやらんといけん

子どもはね、ええとこ探してやらんといけんと思うんです。悪いところはみんな自分でも分かってるんじゃから。私は「あゆみ」にはええとこだけ書いておりました。そこを伸ばしてほしいという思いでしたね。

(6月26日中国新聞より)



これは、尾道市在住の石井哲代さん(103歳)が教師時代に書き留められた言葉です。欠点を探して直そうとするよりも良いところを見つけて、しっかり伸ばして、褒めてあげていると、欠点は気にならなくなるものです。どの子にもいいところがあるのです。たくさん見つけてあげましょう。

どんな時も子どもが真ん中

「2歳児の神楽あそびを通して」

ようやくコロナが5類となり、5月には乳児クラス、6月には幼児クラスの保育参観を人数制限なしで開催することができました。どの方も楽しみにされていたようで、ご夫婦、ご家族で参加して下さる方もおられ、お部屋が狭くて、窮屈な思いをされた方もおられたのではと思いますが、どのご家族も微笑みあい、頷きあい、とっても素敵な光景でした。いつもは元気いっぱいでお友だちとサッカーをして園庭を走り回っている年長児のY君が、お父さんの膝の上に座って甘えている様子は、とても微笑ましく、「おうちでこんな風に甘え、それを受け止めてもらっているから園であんなに頑張れるんだな」と改めて、家庭と園とのあり方を考えさせられました。今月は、3年ぶりの夏祭りも開催します。コロナ前のように園庭は来園された方でいっぱいになると思いますが、少しでも暑い夏の夕方をご家族で楽しんでいただければと願っております。

さて、今年の2歳児クラスの中には、神楽好きの子どもが何人かいます。初めは、ブロックで剣のようなものを作り、戦いごっこをしているのかと思ったのですが、よく見ると何やらつぶやき、そしてくるくると回っているのです。担任が「もしかしたら神楽?」と思い、保護者に尋ねたところやっぱり神楽でした。つぶやいていたのは、「我こそはスサノオノミコト…」と聞こえたような…。その姿を見て担任は、すぐに頭にかぶる烏帽子(えぼし)や太鼓を手作りし、数日後は剣、また数日して太めのロール芯を使って大蛇などを作り、少しずつアイテムを増やしていきました。神楽好きの子どもたちは、次は何が増えているんだろうと楽しみに登園し、神楽を知らなかった子どものなかにも一緒に舞う子が出てきました。3か月過ぎた今でも自分で烏帽子を被ったり、太鼓をたたいたり、剣で大蛇をやっつけたりして盛り上がっています。

子どもたちがあそびを楽しむためには、言うまでもありませんが、保育者の働きかけは必要不可欠です。2歳児クラスの担任は、「神楽に興味があるんだ」と思った瞬間、何があつたらより興味を広げ、あそびを楽しませてあげられるのかひらめき、烏帽子、太鼓などを用意したのです。また一度に増やすのではなく、保育者自身も楽しみながら「こんなのがあつたらいいかも」とインターネットで神楽を検索し

たり、ビデオを見て研究し、少しずつアイテムを増やすことで子どもたちの興味も継続し、今では夕方の異年齢保育の時にも自分で広告紙を丸めて剣にしたり、蛇腹折りをして扇子を作ったりして、一人で舞っている子どももいるほどです。

これからの幼児教育は、今までのように保育者が「何歳のこの時期にはこんなあそびをして…」と計画するだけではなく、子どもたちの今の姿をとらえ、幼児クラスでは、子どもたちとどんなあそびをしたいか話し合い、環境を整えていくことが大切になってきます。私たち保育者は、子どもたちにやりたいあそびをとことん楽しませる中で、「今、この子にはこんな力が育っている」とか「〇〇ちゃんのこんないいところが見えてきた」と、一人ひとりの育ちをしっかりと認め、さらに展開していくよう、再度子どもたちと話し合い、思いを聞いたりして環境を整えていくのです。すいこうでのあそびは、常に「一人ひとりの子どもが真ん中」に存在しています。そういうあそび、そして子どもたちとの対話を繰り返していくことで、子どもたちはたくさんのかことを学び、心豊かに育っていくのではと思っています。

幼児クラスの廊下には、子どものあそびが展開していく様子がわかるような「あそびのマップ」を掲示しています。子どもの姿やあそびの具体的な内容を記入し、写真も利用して保護者の皆さんにも子どもの成長を楽しんでいただけるよう取り組んでいるところです。

今回、2歳児クラスの神楽あそびの様子をお伝えしましたが、神楽だけではなく、パズルに興味を持っている子、おままごとが好きな子などと、興味はさまざまです。どの子どもも楽しめるよう、手作りのごちそうを用意したり、車の好きな子のために空き箱で立体駐車場を作ったりなど保育者も楽しみながら取り組んでおりますのでご安心ください。

今月は、年長さんが野外活動センターでのお泊り保育に参加します。保護者の方と離れて、仲間だけで過ごす一泊二日。大自然の中で、どんな発見や驚き、心を動かす出来事があるのか楽しみです。子どもたちは、今まであそびの中で少しずつ身につけてきた非認知能力をフル回転させ、自分のことは自分でやり、時には、友だちと助け合ったりしながら、一泊二日を楽しんでくれることでしょう。

園長 上原玲子

今年の夏は、美術館が面白い

筆の里工房

こびとづかんの世界展
6月23日~9月3日



ひろしま美術館

ぐるんぱのようちえんなどの作者
堀内誠一 絵の世界
7月1日~8月20日



ふくやま美術館

迷路絵本 香川元太郎の世界展
7月15日~9月18日



東広島市立美術館

ねずみくんのチョコキ展
7月7日~9月24日



年長さんは、8月2日に筆の里工房に見学予定です。詳細については後日お知らせします。